

「本山成人式」開催に向けた 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応ガイド

2020（令和2）年度 本山成人式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮したうえで開催いたします。

つきましては、感染リスクを最小限に抑えるため、対応ガイドを作成いたしましたので、参加を希望される方は、必ずご確認のうえ、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

参加いただく皆さまへ

- （1）「新しい生活様式」を实践し、自己の感染予防に取り組み、体調を整えたうえで参加してください。
- （2）当日は必ずマスクの着用をお願いいたします。
なお、記念撮影時には、撮影直前までマスクを着用いただき、会話はお控えください。配列は密にならないように配慮いたします。
- （3）次の①～⑤に該当する場合には、参加を控えていただき、事務局までご連絡ください。

- ① 過去14日以内に、37.5度以上の発熱や軽い風邪症状（のどの痛み、咳、発熱）があった場合
- ② 新型コロナウイルス感染症が確定された方との濃厚接触がある場合
- ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方、又は感染が確定している方がいる場合
- ④ 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域等への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑤ 居住する各都道府県において、「緊急事態宣言」が発令、または自治体独自で移動制限の対策等がある場合

※ 国立感染症研究所感染症疫学センターによる「濃厚接触者」の定義
患者が発症する2日前から、1メートル程度の距離で、マスクをせずに15分以上会話した場合など

- （4）本願寺にお越しいただく際は、公共交通機関の利用を避ける事が望ましいですが、やむを得ず利用される場合は、必ずマスクを着用するなど、徹底した感染防止対策をお願いいたします。

(5) 当日の受付では検温を実施し、37.5度以上の方は参加をお断りさせていただきます。

(6) 本山成人式参加後（2週間以内）に新型コロナウイルス感染症に罹患された場合は速やかに事務局へご連絡ください。

(7) 式典の座席については、あらかじめ指定させていただきます。

(8) 新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる場合があります。

※ 2020(令和2)年12月25日に最終判断し、その結果を浄土真宗本願寺派ホームページに掲載いたします。

中止判断基準：京都府に緊急事態宣言が発令されている場合

京都府の感染状況が「特別警戒基準」に達している場合など

(中止に伴い発生するキャンセル料等につきましては、負担いたしかねますこと
ご了承ください。)

(9) 新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して開催いたしますが、感染を完全に防ぐことは不可能であることをご理解のうえ、ご参加ください。

参列される方へ

(1) 式典への参列（同伴）は、代表の方お1人までとさせていただきます。

(2) 受付で「お名前と連絡先」をご記入ください。入場証をお渡しいたします。

(3) 参列される方につきましても、参加いただく皆さまと同様の感染防止対策を行ってくださいますようお願いいたします。

当日の対応

(1) 「3つの密（密閉・密集・密接）」を避ける対策を各所において行います。

(2) アルコール消毒液を各所に配置します。

(3) 本年度は、祝賀会は開催しません。（式典後、記念品をお渡しいたします。）

(4) 本山成人式に関わるスタッフにつきましても、マスクの着用やこまめな手指消毒、体調管理を徹底するなど、適切な感染防止対策を実施いたします。

以 上

お申し込みをいただいた方は、本ガイドラインに掲げられる各項目をご理解のうえ、同意いただいたものさせていただきます。

【参考】

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びにいくな**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

※厚生労働省ホームページより抜粋